

# Fitness Industry Association



Fitness Industry Association of Japan

## NEWS

編集: (株)クラブビジネスジャパン  
TEL.03-5459-2841  
FAX.03-3770-8744  
E-mail.info@fitnessclub.jp  
http://www.fitnessclub.jp

発行: (一社)日本フィットネス産業協会  
TEL.03-5207-6107  
FAX.03-5207-6108  
E-mail.info@fia.or.jp  
http://www.fia.or.jp

### Topics

### トピックス

#### IHRSA、コロナ禍における消費者動向についてレポートを刊行

2020年10月、IHRSAは『THE COVID ERA FITNESS CONSUMER』レポートを発行した。18歳以上でジムの会員になっている、または会員になっていたが新型コロナウイルス(以下、コロナ)の感染拡大を機に退会した人々1,171名に調査を行い、コロナが彼ら彼女たちのフィットネスライフに与えた影響などについて調査を行った。ここではその調査結果の一部を紹介したい。

よりウォーキングや走ったりするようになった:53%

オンラインフィットネスに参加するようになった:33%

より散歩に行くようになった:30%

フィットネスツールを買った:29%

#### ■フィットネスクラブに代わるものが見つけられない

コロナによるジムの休業で、会員たちはこれまでのフィットネスの習慣を変更することを余儀なくされた。一部の人々は自宅でも変わらずワークアウトを続けているが、そのほか多くの人々は、ジムに代わるものを見つけられずにいる。

彼らは目標に到達するため、また見慣れたスタッフや仲間たちがいるジムに戻ることを心待ちにしている。

#### コロナの感染拡大が始まって以来、フィットネスの習慣がなくなってしまった

#### ジムを頻繁に利用していた会員の50%は現在のフィットネス習慣に満足していない

難易度が低い:54%

一貫性に欠ける:53%

面白くない:51%

再開後もジムに復帰していない人の52%がワークアウトへのモチベーションを高めることに苦労している。復帰した人の間で同様の割合は42%となっている。

54%

of women

41%

of men



女性の54%、男性の41%がエクササイズへのモチベーションを高めることに苦労している

#### フィットネスの習慣を変えた人々の53%が、それは一時的なものだと回答

<内訳(世代別)>

団塊の世代(1946~1964年生まれ)以上の63%

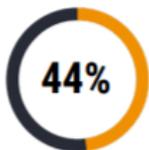
X世代(1960~1970年代生まれ)の51%

ミレニアル世代(1981~1996年生まれ)の44%

Z世代(1997年~)の47%

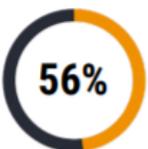


新しい生活習慣に満足していない

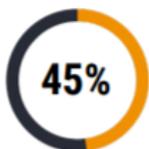


ジムに復帰した人

ジムに復帰していない人



生活習慣が悪化した



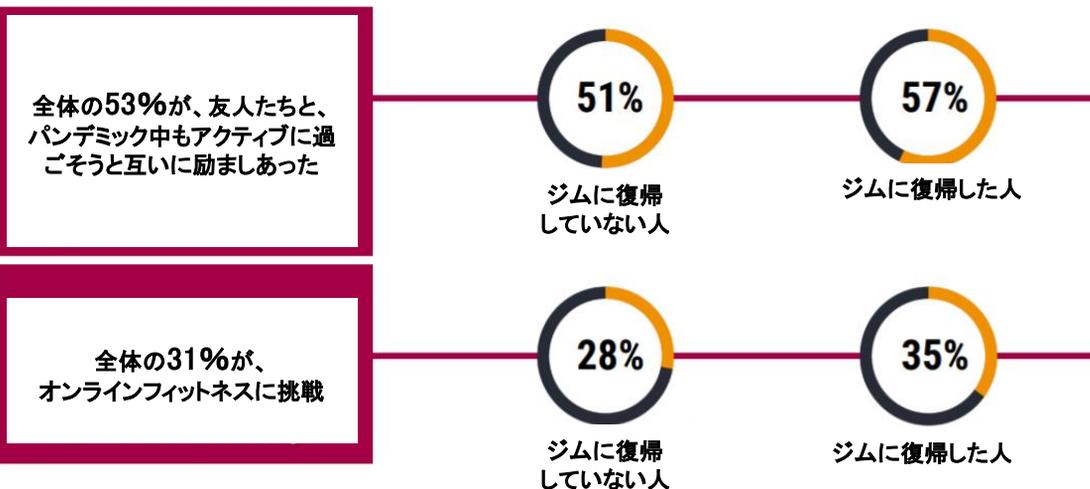
ジムに復帰した人

ジムに復帰していない人

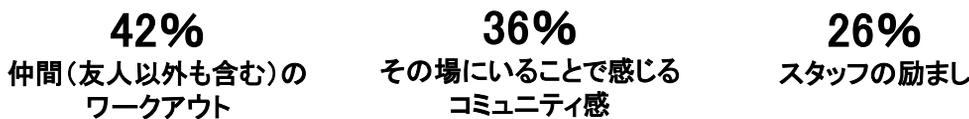
多くの人々がジムの再開を心待ちにしている

多くの人々が以前より健康について意識するようになってきている

- ・より健康を意識するようになった: 68%
- ・かつてより健康的な食事を意識するようになった: 59%
- ・よりエクササイズするようになった: 77%
- ・健康やフィットネスに関する時間をかつて以上にとるようになった: 65%



多くの人々がフィットネスクラブが提供するコミュニティが恋しいと感じている



ジムを恋しく思う人の中で、他の人と一緒にワークアウトすることを寂しいと思う人は男性よりも女性のほうが多く(女性48%:男性の37%)、そこにあるコミュニティを恋しく思うのも女性のほうが多くなっている(女性40%:男性33%)

なぜジムへ復帰したのか？



オープン後にジムに復活した人の53%が、メンバーシップをもつ目的の1つは気分を高めることだと答えているのに対し、復帰していない人では同割合が44%であった。

## ■エクササイズはストレスを緩和できる

2020年、コロナは何百万人ものアメリカ人に不安を与え、その結果、多くの人が年初よりストレスを感じている。彼ら彼女たちは、世界の状況や自分たちの地域、そして自分自身などに大きな不安を感じている。一部の人たちは読書や料理などでストレスを緩和させているが、それら以上にエクササイズはストレス緩和に効果を発揮するだろう。

### フィットネスクラブ利用者の63%が、2020年のはじまりよりストレスを感じている



## すべての世代でストレスが高まっている

団塊の世代以上の55%がよりストレスを感じている

X世代の68%がよりストレスを感じている

ミレニアル世代の66%がよりストレスを感じている

Z世代の73%がよりストレスを感じている

## 心を暗くする外的要因

クラブ利用者の91%が時事問題に関心を持っている



アメリカ経済  
65%



大統領選  
58%



人種問題  
39%



### 調査概要 >>

対象: 現在ジムの会員になっている、または会員であったがコロナにより退会した18歳以上のユーザー1,171名  
 期間: 2020年8月24~28日  
 実施方法: オンラインアンケート

## Information

## お知らせ

## 1. 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金活用の働きかけの状況について

来年度のフィットネスクラブの新規掘り起こしを活性させる具体的な試みとして、地方創生臨時交付金の活用を自治体に促す活動をFIA加盟企業が主体となって働きかけて行くことについて皆様に呼びかけさせていただいたところ、早速いくつかの活動が動き始めています。

今回はその中でもいち早く実際の陳情が行われた宮城県での取り組みについての報告です。

去る2月24日、みちのくフィットネスクラブ協会有志企業が宮城県に対し、コロナ禍によるフィットネス産業全体が受けたインパクトに関する説明と、今後の宮城県に於けるフィットネス産業の復興に向けた具体的な支援として、『新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金』の一部をフィットネスクラブへの新規入会促進につながるキャンペーンに振り向けるよう要望書を提出しました。

今回の陳情に於いて宮城県側からは、佐野好昭宮城県副知事や宮城県議会議長の石川光次郎氏等が臨席され、みちのくフィットネスクラブ協会を代表して(株)グラン・スポール代表取締役社長である笹氣健治氏から佐野副知事に要望書が手渡されました。

この陳情訪問には、FIAからも吉田会長が参列し、業界全体の状況や業界ガイドラインによってフィットネスクラブに於ける感染の拡大が起きていない状況などの説明、そして報道取材対応等をいたしました。

残念ながら昨年は全国のフィットネスクラブが、新たな会員獲得の需要期をほとんど喪失し、在籍会員数を失う一方で

終わってしまいました。

その厳しい状況から、来年度に向けて利用者のあらたな掘り起こしの活性化を図るため、会費の一部を自治体に補填していただくというのが、今回の要請の主旨です。

しかし、この要請はフィットネス産業の復興支援という単一的な目的に止まるものではなく、それと同等もしくはそれ以上にフィットネスクラブへの一歩を踏み出しやすくすることによって地域の運動参加を高め、最終的には地域の健康度を向上させることに寄与するという、フィットネス業界側から自治体に対する健康支援という側面もが重要であると考えます。あくまでも直接的に恩恵を受えられるのは、自治体の生活者であるという点の訴求が大切であると考えます。

今後全国の自治体に於いて同様の要請活動が活発になる中で、まさにこうした働きかけの位置づけを明確にすることで共感の輪が広がっていくことを望みます。

尚、現在宮城県の動きに続いて、東京都世田谷区と渋谷区、兵庫県姫路市、埼玉県所沢市等の自治体に於いてFIA加盟クラブの発起によって要請の働きかけの準備が進められています。

FIA加盟クラブの関係者の皆様には、これらの自治体での動きへの積極的な参加と、新たな自治体での活動に対して積極的に参画ください。



みちのくフィットネスクラブ協会から、佐野宮城県副知事にしっかりと要請が手渡された。



## 2. FIA サイバーセキュリティ保険制度

FIAでは個人情報保護に対応する取組みとして、会員企業で情報漏えい事故が発生した場合に備えた『FIA会員情報漏えい賠償責任保険制度』を2006年に発足、2018年からは『FIA サイバーセキュリティ保険制度』に切替えて提供させていただいています。

この制度は、当協会加盟企業が取扱うフィットネス会員の個人情報が漏えいした場合の損害賠償、見舞金・社告等の対応費用を迅速に補償するもので、一般より低廉な保険料となることを企図したFIA独自の団体補償制度です。

コロナ禍対応でWebレッスンが増えるなど従来以上に外部とのデータ往来が増加しています。

情報セキュリティ事故が経営に与えるダメージは深刻です。

また、FIA加盟企業施設認証制度においても個人情報の適切な管理を求めています。会員企業の皆様には是非当制度にご参加いただきますようお願いいたします。

今年度、本保険の募集は4月上旬の2週間ほどとなっています。3月末に正会員代表者・ご担当者様へご案内が郵送されます。この保険は補償規模と会員数によって保険料が決まります。

見積もりをお取りいただき、制度参加ご検討をお願い申し上げます。

ご質問等ございましたら、下記お問合わせ先又はFIA事務局までご連絡ください。

(お問合わせ先)

ファイティ・コンタクトセンター

0120-257-522

## 3. 緊急事態宣言再延長を受けた対応について

関東1都3県では3月8日以降緊急事態宣言が延長されています。2月初旬の宣言発出時には営業時間を20時までとするクラブは加盟100社中25社(事務局調べ)でした。3月8日以降では同13社ほどとなっています。

関東圏4自治体では5時から20時までの営業時間とするよう呼び掛け、お願い、が行われる対象に「運動施設」が入っています。

運動  
遊戯施設

(施設例)

体育館、屋内・屋外水泳場、ボウリング場、スケート場、ゴルフ練習場、バッティング練習場、陸上競技場、野球場、テニス場、柔剣道場、弓道場、スポーツクラブ、ポットヨガ、ヨガスタジオ、マージャン店、パチンコ屋、ゲームセンター、テーマパーク、遊園地

## 4. FIA加盟施設認証手続きを進めてください

FIA加盟クラブでガイドライン順守・安全配慮・企業コンプライアンスなど、所定事項が確認できる企業に対し、FIA加盟施設認証を行い、認定証掲出やステッカー貼付により社会に対し安全・安心のクラブであることをアピールする制度です。FIAホームページ(<https://www.fia.or.jp/public/19357/>)に説明と手続き書類がありますのでご覧ください。

- 登録料: 5万円(企業単位初回のみ)
- ステッカー: 220円(施設単位・1枚以上  
必須)
- 認定証書: 220円  
(施設単位・任意・(額付も選択可))



## 海外の新型コロナウイルス感染症関連情報

今回は、今年の1月21日にIHRSAが発表した記事を抜粋してご紹介します。

**“蓄積されたデータがフィットネスクラブはコロナウイルスのリスクが低い環境であるということを示すと同時に重要なリソースとなっています”**

新型コロナウイルスのパンデミックが続く中、疫学的証拠は身体活動が不可欠でありと同時に、フィットネスクラブがコロナウイルス感染の源とはなっていないことを示唆し続けています。

新型コロナウイルスのパンデミックが始まって以来、IHRSAは、コロナウイルス感染の動き身体活動、健康状態とコロナウイルスの関係、さらにはコロナ禍に関連する様々な制限が身体的および精神的健康に及ぼす影響に関する入手可能な証拠をまとめています。

この証拠は、IHRSAグローバルデータメモにまとめられています。

この記事では、利用可能な証拠が示す3つの重要な結論に焦点を当てて紹介します。

### 1. 厳格なコロナウイルス緩和プロトコルを実施しているヘルスクラブは、感染のリスクの高い環境ではなく、身体活動の重要な場所を提供しています。

新たに発表された『身体活動と座りがちな行動に関するWHO2020ガイドライン』は、座りがち時間が長引くことによる悪影響も浮き彫りにしています。

コロナ禍の中、これは多くの人にとって避けがたいことです。新しい研究によると、1日あたり30～40分の適度な運動あるいは強度の高い運動は、長時間座りっぱなしによる危険因子を軽減できることが示唆されています。

これらの結果は、通勤中の身体活動、用事の実行、および社交行事が削減されるコロナ禍の間は、特に重要になる可能性があります。

厳格な安全確保のプロトコルで運営されているヘルスクラブは、コロナ禍に於いても比較的安全な場所です。

運動は不可欠ですが、屋内はもちろん運動中の呼吸が通常よりも上がることを考えると、ヘルスクラブがコロナウイルス感染のリスクの高い場所であるという当初の懸念がありました。

しかし、これまでのデータは反対のことを示唆しているように思われます。

厳格な安全確保のプロトコルを導入して運営されているフィットネスセンターは、むしろ一般的にリスクの低い場所です。

昨年の8月、いくつかの業界調査によってクラブが報告したコロナ感染症例に関連して、複数の会員管理ソフトウェアシステムプロバイダーからのクラブのチェックインデータが分析されました。

これらの研究は、チェックインによって測定された、フィットネスクラブでのコロナ感染症例数とクラブ内での利用者のトラフィックとの関係を定量化することを目的としています。これらの研究は以下の事を発見したのです。

- ※UKActiveのデータによると、英国では、ジムとレジャー施設で、再開後3週間で800万回以上の訪問があり、COVID-19陽性の症例はわずか17件であった。  
(※UKActiveはイギリスのフィットネス産業協会)

2. データは、代謝の健康状態の悪さと健康状態の悪いライフスタイルと、深刻なコロナ感染の因果関係を示しています。

3. コロナ禍によって生じている様々な制限は、身体活動と精神的健康の両方に悪影響を及ぼしています。

身体活動は、身体的、精神的、および感情的な健康に不可欠です。

世界保健機関(WHO)によって発表された新しいガイドラインによると、身体活動は成人に対しては次のような多くの健康上の利点をもたらします。

1. 心血管疾患、2型糖尿病、および癌の予防と管理の支援を担う
2. うつ病や不安症状の軽減
3. 思考、学習効率、および幸福感の促進

さらに児童に対しては次のような利点をもたらします。

1. 体力向上
2. 心血管の健康
3. 骨の健康
4. 認知の健康
5. メンタルヘルス
6. 肥満の減少(過剰な脂肪)

2. Fitness Australiaのデータによると、ニューサウスウェールズ州の423のジムで2か月間に626万回のチェックインがあり、ジム内での感染ケースはゼロであった。
3. 米国では、MXMIによって分析されたデータには、2,877のヘルス&フィットネスクラブへの4,940万のチェックインが含まれ、8月7日時点でわずか1,155の感染症例が報告され、わずか0.002%の発生率に分類される。

この調査は、オレゴン大学のオレゴンコンサルティンググループ(OCG)が実施した分析によって確認されました。

OCGの研究者は、コロラドでの850万回のフィットネスクラブ訪問に基づくチェックインデータと、公開されている※コンタクトトレーシング情報との関係を探しました。分析では、ジムへの出席と新型コロナウイルス感染の症例との間に統計的に有意な関係は見つかりませんでした。

※コンタクトトレーシング: 感染症の接触者追跡(主にアプリを使う)

**“米国のいくつかの州の保健当局によって報告された利用可能なコンタクトトレーシングは、フィットネスセンター(またはフィットネスセンターを含むカテゴリ)に起因する発生が、発生全体のわずかな割合を占めるように見えることを示しています”**

多くの証拠が新型コロナウイルスの空気感染を指摘しているため、大気そのものが懸念されています。

大規模な証拠は入手できませんが、フロリダ大学で進行中の研究の一環として収集された予備データでは、ゲインズビルヘルス&フィットネスクラブの空中では、検出可能な新型コロナウイルスは検出されませんでした。

また、オハイオのプラネットフィットネスの場所で実施された

同様の大気質分析でも、周囲の空気またはHVACフィルターに検出可能な新型コロナウイルスは見つかりませんでした。

Nature(ネイチャー)に発表された調査によると、政府は広範囲にわたる閉鎖に訴える必要はありません。

いくつかの報告は、この研究がジムと春のコロナウイルス感染症拡大の関連を示しましたが、調査結果ではジムがレストランのような他の屋内の場所と比較してリスクが低いことを示しました。

スタンフォード大学とノースウェスタン大学で実施された調査によると、許容制限は、経済的損害を鈍らせながらコロナ感染症を制御するための効果的な方法である可能性を示します。

筆者: Alexandra Black Larcom(アレキサンドラ・ブラック・ラーコム)

MPH, RD, LDNIは、IHRSAのヘルスプロモーションおよびヘルスポリシーのシニアマネージャー。彼女は、IHRSAクラブが地域社会で効果的な健康プログラムを提供するのに役立つリソースやプロジェクトに日々取り組んでおり、運動を促進する政策が優れたアイデアであることを議員に啓蒙しています。

(翻訳: 松村 剛)



## 【概要】

タイトル: 『オンラインフィットネス』

日時: 2021年3月24日(水) 20:00~21:30

(途中参加・途中退席可)

主催: フィットネスビジネス編集部

オブザーバー: 株式会社ボディクエスト

代表取締役 森 俊憲氏

参加費: 無料

定員: 先着12名

お問合せ先: [haga@fitnessclub.jp](mailto:haga@fitnessclub.jp)

担当: 芳賀

※こちらは「フィットネスビジネス」ご購入者様限定のセミナーとなります。

## 【詳細・お申込みはこちら】

<https://business.fitnessclub.jp/articles/-/541>



## Member's Board

## 会員掲示板

### 株式会社クラブビジネスジャパン からのお知らせ

#### ■「フィットネスビジネス」ご購入者様限定！ 「Zoom」情報交換会 開催

昨春、新型コロナウイルス禍による休業要請を受け、一時は営業停止を余儀なくされたフィットネスクラブ。2ヶ月ほどで休業要請は解除されたものの、生活者の足取りは確実に重くなりました。実際に新規入会者が減っただけでなく、休会や退会も相次いでいます。

そのようななか、会員さまとのつながりを維持するために、オンラインでレッスンを提供することや様々なコミュニケーションをとることが必須となっています。とりわけ在宅時間が増え俗に言う「巣ごもり消費」がトレンドになり、オンラインフィットネスの需要が高まっています。

いち早くオンラインフィットネスを導入しているクラブもあれば、未だ何らかの理由で導入していない(できていない)クラブもあるでしょう。そこで、両者のクラブが双方気づきを得ることができるよう、フィットネスビジネスご購入者様限定 ZOOM情報交換会を開催し、「オンラインフィットネス」をテーマにした情報共有の場を設けることと致しました。

ゲストとして株式会社ボディクエスト 代表取締役の森 俊憲氏にご参加いただき、オンラインフィットネスについてご意見をいただきます。ぜひご参加ください。

#### ■「フィットネスビジネス」間もなく新サービススタート！

平素はフィットネスビジネスをご購読いただきまして誠にありがとうございます。フィットネスビジネス編集部では、サービス向上やお客さまの満足度向上のため、たゞいま新たなご購入プランおよびシステムの作成を進めております。

新プランでは、現在の誌面でのご購入プランに加えて、デジタルブック会員など、お客さまのご都合に合わせて選択できるようにします。

これからも皆さまの声なき声を懸命に傾聴し、お役に立てる情報を、よりわかりやすく、より便利な形でご提供していきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新サービスではweb 閲覧時にメールアドレスのご入力が必要となるほか、ご登録いただくことで、フィットネス関連の最新情報を定期的に受け取ることができるようになります。

詳細は別途ご案内いたしますのでご期待ください。

#### <プラン一例>

フィットネスビジネス本誌購読会員  
(フィットネスビジネス Web 有料会員 + 本誌購読セット)

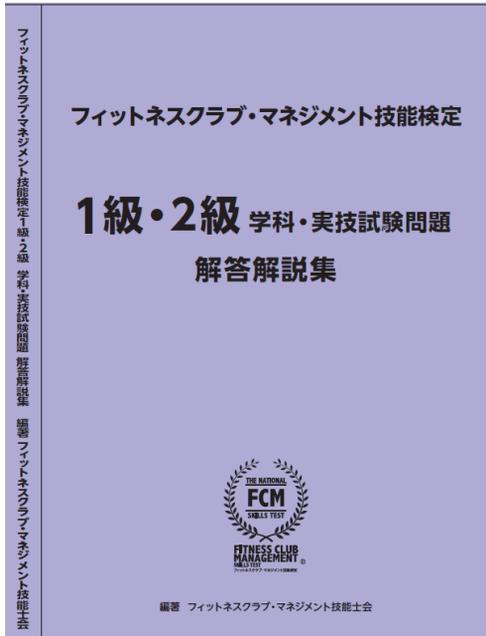


初月無料  
1,470円/月あたり  
17,640円/年

## フィットネスクラブ・マネジメント技能検定について

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定試験問題解答解説集が新たに発刊されます！

1級技能士の有志により、過去3回分の技能検定試験問題を解説し、編纂された試験問題解答解説集の新版(FIA公認)が、2021年3月に発刊・発売開始されます。



平成29年の第1回から令和1年までの3年間分の1級及び2級の実際に出題された学科試験、実技試験の試験問題を掲載。

1級については、学科試験問題の解答及び解説、参照となる公式テキストVOL.2版の章・節を記載しています。

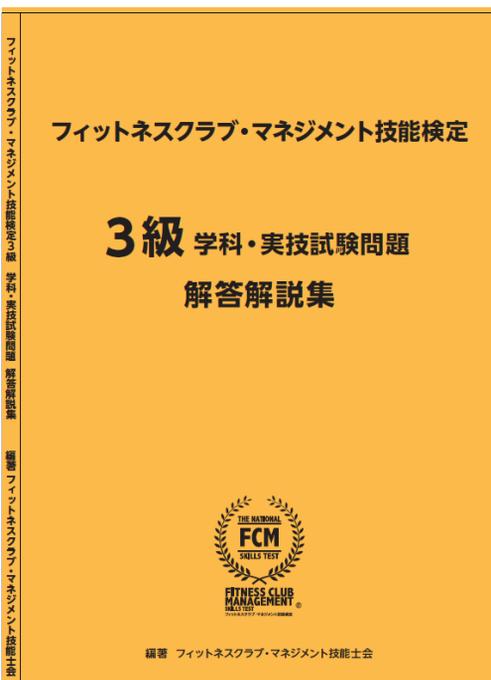
さらに、実技試験の口述試験問題について、その解答のポイントを解説しています。

1級受検には、2級の技能を有することが前提であり、併せて2級の試験問題について学習することで、1級に求められる技能がより鮮明になってきます。

2級については、学科試験問題及び実技試験問題の全てについて解答、解説が掲載されています。まずは、自身で解いてみて、その後、解答との照合、解説及び参照公式テキストの学習等を反復して行なうことが大切であると言われています。

販売金額:1冊 3,500円(税別) 210ページ

購入方法:FIAのホームページ(<https://www.fia.or.jp/text.html>)をご参照ください。



平成29年の第2回から令和1年までの3年間分の3級の実際に出題された学科試験、実技試験の試験問題を掲載。

3級については、学科試験問題の解答及び解説、参照となる公式テキストVOL.2版の章・節、ページを記載しています。

まずは、試験問題を自身で解いてみて、その後、解答との照合、解説及び参照公式テキストの学習等を反復して行なうことは、2級の学習と同様です。

3級学科試験は問題数が60問と多く、1分間に1問解答できなければいけません。そのためには、試験問題になれていることが必要です。

この訓練を行なっているかどうかは、試験時間を有効に使うためにも重要であると言われています。

販売金額:1冊 2,500円(税別) 100ページ

購入方法:FIAのホームページ(<https://www.fia.or.jp/text.html>)をご参照ください。

## 賛助会員

## 株式会社アクトプロ



## 企業PR

## 業界最大手のコスト適正化事業会社

アクトプロはコスト適正化事業をメイン事業にしており、設立から10年間で3,000社以上のコスト削減に携わり、年間削減貢献額は147億円以上を達成しております。  
【対象品目】賃料・複合機・電力・その他間接コスト

## サービス

## ■完全成果報酬・同行不要！

弊社のコスト削減サービスは、様々な品目の適正な価格を導き出す作業から開始し、専門チームによる調査・報告書の作成・ご報告まで完全無料でご提供いたします。

ご依頼後も完全成果報酬で対応させていただきますため、導入リスクもございません。

## ■品質の担保

コスト削減においては「品質、関係性の担保」をお約束いたします。賃料であれば家主さまとの関係を崩さず適正化いたします。そのほか品目に関しては既存取引先を変えず適正化いたしますので運営面に支障が出るご心配はありません。

## ■手間をかけずに、

プロによる一歩踏み込んだコスト削減を！

自社ですすでに取り組み始めて削減したところから、さら「に削減した実績もございます。

まずは無料のコスト適正診断からお任せください。

## 会社概要

会社名／株式会社アクトプロ

代表者／代表取締役 新谷 学

所在地／本社：東京都港区東新橋1-1-19

ヤクルト本社ビル

担当部署／法人営業本部 東日本事業部 営業二部

担当者／阿部 翔太

TEL／080-4186-8620

e-mail／abe.sht@actpro.co.jp

URL／<https://www.actpro.co.jp/index.html>

## New Clubs

## 出店情報

## 3月のオープンクラブ

## ACFit西新宿

所在地：東京都新宿区西新宿7-12-3  
西新宿佐藤ビル3F

## NEXUS赤坂

所在地：東京都港区赤坂8-12-16 Nozy赤坂

## REAL WORKOUT元住吉

所在地：神奈川県川崎市中原区木月2-4-5 クリフト5F

## HIIT GYM赤坂

所在地：東京都港区赤坂2-12-17 MartialArtsタワー3F

## アクトスWill\_G ノースランド

所在地：岡山県津山市上河原160-2

## エニタイムフィットネス代々木

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4-30-3 B1

## エニタイムフィットネス河辺

所在地：東京都青梅市河辺町10-10-1 2F

## エニタイムフィットネス新横浜一丁目

所在地：神奈川県横浜市港北区篠原町3134-2 1F

## エニタイムフィットネス平塚見附町

所在地：神奈川県平塚市錦町4-4 2F

## エニタイムフィットネス小田原開成

所在地：神奈川県足柄上郡開成町みなみ1-24-1 1F

## エニタイムフィットネス東松山

所在地：埼玉県 東松山市五領町16-14 1-2F

## エニタイムフィットネス加須諏訪

所在地：埼玉県加須市諏訪2-6-27 1F

## エニタイムフィットネス柏風早

所在地：千葉県柏市風早1-3-13 1F

## エニタイムフィットネス岡谷

所在地：長野県岡谷市長地権現町1-1-45 1F

## エニタイムフィットネスアクロスプラザ古川南

所在地：宮城県大崎市古川穂波7-2-15

アクロスプラザ古川南敷地内 1-2F

## エニタイムフィットネス奈良香芝

所在地：奈良県香芝市真美ヶ丘4-16-8 1F

## エニタイムフィットネス今福鶴見

所在地：大阪府大阪市城東区今福東2-14-12 2F

## エニタイムフィットネス東大阪鴻池

所在地：大阪府東大阪市中鴻池町3-3-3 1F

## エニタイムフィットネス光明池駅前

所在地：大阪府堺市南区新檜尾台2-1-1 1F

## エニタイムフィットネス広島横川

所在地：広島県広島市西区横川町3-2-36

フレスタモールカジル横川 3F

## エニタイムフィットネスサンリー菊陽

所在地：熊本県菊池郡菊陽町津久礼2472

カリノサンリー菊陽 1F

## Issue

## 記事

## 東京・渋谷区、ズームで健康相談 高齢者にはスマホ貸与

東京都渋谷区は区医師会と連携して区民がオンラインで健康相談できる取り組みを2021年度に始める。区民はビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」で保健師や看護師に自分や家族の症状、健康の悩みを相談し、保健師らは必要に応じて近くの医療機関を紹介する。21年夏ごろの開始を目指す。区民は対話アプリ「LINE」の区公式アカウントから相談日時を予約する。医療行為はせず、費用はかからない。区民であれば誰でも利用できる。相談時間は1人30分程度で、平日の午前9時から午後5時まで受け付ける。住民サービスのオンライン化に合わせ、スマートフォンに不慣れな高齢者の支援も始める。通信料や通話料は区が負担する。

(2021.2.4 日本経済)

## 懐かしゲームで運動不足解消、アステラス、バンナムと開発

アステラス製薬は、バンダイナムコホールディングス傘下のバンダイナムコエンターテインメントと運動支援ゲームを共同開発した。スマートフォンを利用し、チームに分かれて屈伸運動「スクワット」の回数を競う。新型コロナウイルス感染症の拡大で外出機会が減りがちななか、自宅で手軽に運動を楽しめるゲームを通じて健康意識の高い消費者との接点を増やし、将来の事業機会にもつなげる。

(2021.2.4 日経産業)

## ルネサンス「非密」レッスン、水泳教室AIが動画編集、「屋外ヨガ」会社買収

コロナ禍でスポーツジムでの「密」を避ける人が増えるなかルネサンスが新しいサービスの構築を進めている。6月から子ども向けの水泳教室で、動画や人工知能(AI)の技術を活用したレッスンを導入。4月には屋外フィットネスを手がける同業を子会社化する。運動へのニーズはコロナ下でも根強いとみて、多様なサービスをそろえて消費者を取り込む。

(2021.2.14 日経MJ)

## アディダス、リーボックを売却へ

独アディダスは傘下のスポーツブランド、米リーボックを売却すると発表した。売却を含めた選択肢を検討していたが、正式に売却に向けた手続きに入った。不振が続いていたリーボックの立て直しをあきらめ、アディダス本体に経営資源を集中する。

(2021.2.22 日経MJ)

## SOMPOひまわり生命とルネサンス、業務提携契約を締結

SOMPOひまわり生命保険株式会社と株式会社ルネサンスは、「健康寿命の延伸」および「あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会の実現」に向けた新たな付加価値を生み出す事業の構築・サービス提供を目的として、業務提携契約を締結した。予防やQOL向上に効果的なヘルスケアサービスをオンライン/オフラインでお届けし、コロナ禍でも健康活動を支援する取り組みを強化する。

(2021.2.26 日本経済)

## お一人さま市場、ソロリ活況、コロナ下でも密気にせず、新サービス続々創出

コロナ下の今、密にならないスタイルとして1人向けのサービス・店舗が広がってきた。もともと単身世帯が増えるなか、つながりを求める時代の反動としても「独りになりたい」という潜在的なニーズはあった。お一人さま市場を目指す企業はもはや独りではない。

人と接触せずに黙々と運動したい―。東急不動産グループの東急スポーツオアシスが首都圏の3店でサービスを提供する「個ジム」のサービスが、利用を伸ばしている。その名の通り、店舗内に設けた個室の中で、1人で有酸素運動をすることができる。「東急スポーツオアシス上大岡」(横浜市)では2021年1月の個ジムの利用者はのべ約360人と、前年同月に比べ3~4倍の水準になった。千葉県松戸市の店舗では、20年12月中に2つあった個室のうち1部屋から器具を撤去。人と距離を置いてストレッチしたい人が多いのに対応した。

(2021.2.5 日経MJ)

## 米ペロトン、「自宅ジム」に商機、バイク+動画配信、売上高3倍、バイデン大統領も御用達

フィットネス機器の米ペロトン・インタラクティブが躍進している。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、在宅勤務中の健康維持に関心が高まり、売り上げは前年の3倍超に伸びた。同業の米プリコー買収で増産体制も整え、販売拡大に弾みをつける。

(2021.2.12 日経産業)

## 石川・七尾の病院など、オンラインで健康支援

恵寿総合病院を運営するけいじゅヘルスケアシステムと同市にあるスポーツクラブ「ノアフィットネスクラブ」は3月、オンラインの健康支援サービスを始める。フィットネス講座や人工知能(AI)を活用した問診などを提供する。高齢者らの見守りにも役立て、「iPad(アイパッド)」を使って行う。

(2021.2.25 日本経済)

## 矢野経済研究所、フィットネス施設に関する調査結果を発表

株式会社矢野経済研究所は、国内の民営フィットネス施設経営企業および施設を調査し、2020年10月時点のフィットネス施設数、及び業態別の施設動向などを明らかにした。

## 市場概況

全国のフィットネス施設経営企業および施設を対象として調査したところ、2020年10月時点での全国フィットネス施設数は7,893施設であった。また、施設を業態別に分類すると、総合型1,131施設、小規模型2,189施設、24時間型1,704施設、ヨガ型983施設、その他1,886施設になった。サーキットトレーニング主体である小規模型のフィットネス施設数が最も多く全体の27.7%を占めており、近年、急速に施設数が増えている24時間型の施設は、現時点では小規模型に次ぐ21.6%であった。一方で、従来主流であった、プール、ジム、スタジオを兼ね備えた総合型は14.3%にとどまっている。上述した7,893施設のうち、新規のフィットネス施設数(2019年1月~12月にオープンした施設)は674施設であった。新規施設を業態別にみると、総合型27施設、小規模型72施設、24時間型353施設、ヨガ型68施設、その他154施設であった。新規施設数は24時間型が最も多く、フィットネス施設市場の拡大を牽引している。

(2021.2.24 日本経済)